

## 玉祖地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月28日（金） 午後6時～7時20分

【場所】 玉祖福祉センター 大集会室

【出席者】 玉祖地域住民ほか 計45名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
  - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
    - ・候補地選定の経緯を中心に説明
  - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 \*各発言は、要旨を簡略化して記載している。

### ◆質問者1

検討委員会の会議録なども読んだ。委員さんが真剣に検討されたようだが、夢だとかロマンを語っておられた方もあり、具体性に欠け、理解しがたいところもあった。

市が提案している駅北での新庁舎建設は、どっちがいいという議論が先に立ち、駅北の具体論が進んでいないというのが実情だろう。駅北で市庁舎を作り、まちづくりをされるなら、防府市の総力戦。市だけでなく、地元住民、市民全体、商工会議所や地元の商店主、10年先、20年先のまちづくりに全力であたっていくないと、市庁舎だけ作ってしまっても変わらなかったでは、次世代が負担するコストが一番高くなる。

できればすべての方にご協力いただいて、駅の北側、防府のまち全体のことを考えてやってもらえるのであれば、100億のコストが高いか安いかわというよりも、10年先、20年先の防府市をどう考えるかということで、お釣りが出るのはないか。もし、そんな協力がいただけないのであれば、議会棟をそのままに、本当にコンパクトにコストを安く作るということしか考えられない。

まちの中核、コンパクトシティということが庁舎建設では話に出ているが、その中で周辺部分がどういう風に活かしていけるのか、単に交通アクセスとかだけではなく考えて、市庁舎建設やまちづくりをやっていただきたい。

### ◆質問者2

関係ないかも知れないが、未だに下水道が通っていない。浄化槽は巨大なタンクで衛生上あまりよくない。設置のための敷地も必要になるし、更地にして売る時も自己負担で取り除く必要がある。下水道があればそういうことがない。

### ◆質問者3

新市庁舎を考える中で、まちづくりも必要だが、災害をどのように考えているか。資料の「基本的な考え方」の中に「安全安心な暮らしを支える庁舎」とあるが、ハザード

マップではこの辺りは2メートルくらい浸水する予測も出ていたと思う。1階部分が浸水し市民生活に影響を及ぼすということもよくあるので、執務空間と窓口部門の情報の連携を考えて、1階が浸水しても影響がないよう考えて欲しい。また、地震にはどのように対応しているか。

#### ●庁舎建設室長

面的整備だとかまちづくりは、夢やロマンがないとなかなか語れないところもあるだろう。具体論が出ていないということについては、おっしゃられたとおり、総力戦だろう。今、商工会議所を中心に中心市街地活性化基本計画を作ろうとしている。そうした計画を今から立てていく中で具体化していかなければならない。この計画は庁舎を作る計画で、まちづくりの計画ではないが、委員とすればまちづくりの答えを見たいというところもあり、まちづくりの計画は今から作るので、順番が前後している状況でもある。昨日もご指摘をいただいたが、今後そういったことを担保していかないと、なかなか理解が得られないだろう。庁舎を移転すればそれだけでハッピーになるとは考えていない。産業振興や雇用の創出といったことが片方にあるだけではじめてまちは豊かになる。庁舎の計画は作ったが、併せてそういった政策をやっていくということ。

下水道については即答できないので、上下水道局に伝えておく。

安全安心が一番の優先順位。建築の仕様の中で、水害にも地震にも強い庁舎を検討する。まちなかの庁舎となれば、危険分散の考えで、しなやかな対応を目指していき、自衛隊、警察、消防などとの連携もIT技術を取り入れながら強化していきたい。

#### ◆質問者4

4年ちょっと前まで、東京に50年近く住んでいた。東京では駅の近くに作るのが当たり前でこの計画は最初いいなと思ったけど、防府ではJRとかバスを使ったことがない。すっかり車社会になっている。駅の近くという利便性はそんなにない。

駅の北に作っても、しかけづくりが必要。天神アーケード街の寂れ具合を見ると、商業で税収が上がり、庁舎を作るくらいのお金がすぐ戻ってきたとか。防府市はものすごく住みやすい。あつたかくて雪は積もらないし、駅を中心に交通の便もよく、海はあり、周辺の住宅街と商業地、いい文化の面ももっている。市が発展するための商業地、南は高校とか多い文教地にしようとか。ただ、いい庁舎を作るだけではなく、経済活性とか人が集まるとか、しかけづくりになるような市庁舎を考えてください。自分も意見があれば提案したいが、そういうしかけのある新庁舎でないと市民は賛成しない。

#### ●庁舎建設室次長

ハードの建設の計画を作ったが、そういうソフトの計画を考えていかななくてはいけないという話を建設室の中でもしているところ。

#### ◆質問者5

駅北を防府の中核にしていこう、そこからまちを広げていこうという趣旨だと思うが、

例えばホテルが入るとかそういうソフト面は一切考えておらず、今の段階では場所の選定ということなので、全体的なまちづくりが提示されればなるほどと思うが、今の段階で判断しろと言われても、判断のしようがない。

あちこちで色んな意見があったと思うが、まとめて公表されるなら楽しみにしておく。

#### ◆質問者6

お金の話だが87億と118億、30億の違い。19年かかって33億しか基金が集まってない。この30億の差をまた20年かかって埋められるのか。金額面を安易に考えているのではないか。B案について具体的なことが白紙である以上、押さえるポイントは、まず金額面を安くあげること。もうちょっと視点をはっきり決めないと説得力がない。議会が全会一致で再検討しろというのを3分の2までもっていくのは大変だと思うので、もっと考えて。

#### ●庁舎建設室長

地方都市は住みやすいけれども「けれども」が付くのは、どこも同じ。また、車社会が脱却できないのも地方都市では全国どこでも同様。しかけづくりとして、単にコンクリートの壁が建っているのではなく、筆界を開くように地域で協定を結んだりして、一階をまちに開いて、半公共的なオープンスペースにするなど、具体策はこれから考えていきたい。

もう少し具体性がないと、場所だけ決めてくれと言われてもなかなか難しい、判断できないというご意見については、進め方の参考にさせていただきたい。

30億円というのは1年半くらい前の数字で、今は変わってきており、直近の建設単価に置き換えると10億円くらい高くなる。現庁舎の数字をきちんとはじいてないが、87億というのが97億くらいになり、30億の差が、今、あるということではない。金額で決めるというのは大きなポイントで説得力にもつながると思うので、活かしていきたい。

#### ●市長

色々な角度からご意見をいただき感謝申し上げます。これまで全地区を回ってきて、今日のご意見は示唆にとんだ素晴らしいご意見をいただいたと思っている。

先人が熱心にまちづくりに取り組んで、連続立体高架事業など500億円を投入している。市長になったとき、その借金をどうしようと考えて行政改革と合併に取り組んだ。行政改革は転ばぬ先の杖になり、消防署、火葬場、体育館ができ、ごみの焼却場も作ってきた。下水道ができていない地域があるのというご意見もあったが、都市計画税を払ってくださっている地域で、20年も30年も下水道が到達していない地域がまだあり、調整区域内の場合、浄化槽で対応していただくしかない。

まちづくりは永遠の課題であり、その都度、当時の人たちが、分相応のしかけづくりをやってきた。区画整理事業も再開発事業も大変な作業であった。そういうものを乗り越えながら、今では山口県でも1番の財政と言われる防府市になってきており、そろそ

ろどこかに市庁舎を作らしてもらってもいいんじゃないかということで3年位前から取組を始めている。すぐ出来るものではない。今、緒に就いたばかりで、今、ご説明したからといって、ご納得いただける、議会で諮っていける成案を持っているわけではない。検討委員会で結論をいただいたことを市内全域の皆様にお知らせをして歩こうということ。この後、老人クラブ、青年団体、この前のどこかの会合では、子供たちにも話をしてくれと言われたが、小学校に出向いて出前講座をやるわけにもいかないかなあと思っている。金銭面で安くするのが良いというのも一つの重要な考え方だが、後世のご判断に耐えられる形でやっていかなければならない。財政的には心配はいらな思っている。100億、120億にしても60年位かけて使えるものだし、毎年2億円ずつ払っても120億になる。庁舎改築の目的だけで毎年2億、3億積み上げ、15年で33億円まできている。

大体この場所という段階になって初めて地権者の方々に当たっていける、公安委員会と道路の問題も協議に入っているが、何も決まってない段階で、そういう動きはできない。例として申し上げるが、デベロッパーに声をかけて、ホテルはどうか、マンションはできないか、老健施設はというコンペをする手法などもあるが、そういうことも何一つ、具体的に申し上げることがない。

今日の玉祖での会合は、地域を回らせていただく最後となったが、とても参考になる、知恵をいただく機会であった。おおよそ500億を30数年かけて先人が投入して来られ、その借金を20年かけて返しなが、次なるしかけができるところまで、ようやく来れた。区画整理をやる時に庁舎予定地を決めておけば良かったという意見もどこかの会場でいただいた。そのとおりだが、その時の体力では絶対に許されない、分不相応であったろう。市会議員の皆さんとも真摯に協議していきながら、将来の方向性を誤ることなく見出していきたい。それが今に生きる私の責任であろうと思っている。